※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）中国語①	2	全学年	高校版『わくわくスタディ実学実用初級中国語』（朝日出版社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語の基礎から学んでゆきます。中国語の発音や話す練習、文化の学習もしっかり学びます。

２　学習の到達目標

・中国語を学ぶことを通して、中国の歴史・文化・社会を理解します。
・中国語の発音をしっかりと身につけます。
・簡単な日常会話を覚えましょう。

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきり発音されれば、短く簡単な指示を理解することができる。ゆっくりはっきり発音される、基本的な語句や表現からなる１文程度の内容を聞き取ることができる。	基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項の知識も活用して、的確に読み取ることができる。	中国語単語を適切に発音することができる。決まった表現や形式を用いて、日常の挨拶をすることができる。基本的な語や表現を使って、日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。	基本的な単語や語句を正確に書くことができる。また基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して、自分についての情報を書くことができる。（名前、誕生日、年齢、趣味など）

３学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声・語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。	・中国語の背景にある文化に対する理解を含め、主体的に、コミュニケーションを図ろうとする姿勢がある。	・創意工夫をしながら、粘り強く学習に取り組み、最後までやり遂げようとする姿勢がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

a. 言語活動に取り組む態度　　b. ゴーグルスライドによる発表　c. プリント等の提出・小テスト

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期 後期	第1課～第10課 ・発音記号 ・動詞「是」 ・自己紹介 ・動詞述語文 ・疑問文 ・助動詞「想」 ・動詞「喜欢」 ・動詞「有」 ・数字の言い方 ・動詞「请」	聞くこと	a.　新出単語を聞き取れるようにする。 b.　話し手の意図を把握することができるようにする。 c.　会話に必要なフレーズを聞き取ろうとしている。	ピンインテスト 小テスト
		読むこと	a.　本文を読んで必要な情報を読み取る。 b.　ポイントを捉える事ができる。 c.　本文を通して動詞「是」の意味や構造について，理解する。	音読テスト
		話すこと （やり取り）	a.　助動詞「想」「喜欢」を使って、話せるようにし、更にスライド制作し、発表する。 b.　簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 c.　やり取りを続けようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a.　中国語で自己紹介文を書いて伝えることができる。 b.　簡単な語句や文を用いて書いている。 c.　読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング 小テスト
	第11課～第20課 ・動詞「在」 ・前置詞 ・年齢の言い方 ・時刻の言い方 ・動詞「可以」 ・方向補語 ・助動詞「会」「能」「得」 ・進行表現と持続表現 ・使役表現 ・「是～的」構文 ・「把」構文 ・存現文 ・受身表現	聞くこと	a.　新出単語を聞き取れるようにする。 b.　話し手の意図を把握することができるようにする。 c.　会話に必要なフレーズを聞き取ろうとしている。	声調テスト 小テスト
		読むこと	a. 本文を読んで必要な情報を読み取る。 b.　要点を捉えることができる。 a.　動詞「在」「可以」の意味や構造、進行表現と持続表現を理解する。	音読テスト
		話すこと （発表）	a.　学校生活について中国語で相手に話して伝えることができるようにする。 b.　簡単な語句や文を用いて話している。 c.　基本的な語句、文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a.　「把」構文や受身表現を文章に書いて伝えることができるようにする。 b.　簡単な語句や文を用いて書いている。 c.　読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング 小テスト